

Appendix

**「学校における働き方改革の推進に関する
調査研究」事業に係る各実証校のこれまでの
の取組み**

R6年度の働き方改革実証校の取組み内容紹介

以下のページでは、令和6年度に働き方改革実証校として、様々な取組みを行ってきた学校の取組み内容をまとめています。是非、下記の「取組み背景の例」をご参照いただきつつ、「自分の学校でもやってみたい！」と感じる取組みを探してみてください。



取組み背景の例

家よりも職場の方が仕事がしやすい状況、職場に残らざるを得ないという状況を変えたい。

子どもも先生も安心して過ごせるよう、小学1年生のクラス編成を工夫したい。

毎日の授業準備に追われる先生の不安、負担を軽減し、子どもにとっても大人にとっても安心できる学習環境をつくりたい。

教師がやらなくてもできる作業についてはAIに任せたい。

これまでも働き方改革に取り組んできたが、時間外在校等時間をさらに削減したい。

外部の力を借りて、校内の取組みを更に進めたい。

実証校での主な取組み紹介



城山小学校
「いつでも・どこでも」働ける環境整備
(p.4)

桜丘小学校
子どもも先生も安心して過ごせるクラス編成に
(p.6)

中丸小学校
教科担任制で負担削減と教育の質向上を両立
(p.8)

九品仏小学校
教師がやらなくてもできる作業は生成AIを積極的に活用
(p.10)

桜丘中学校
19時30分の景色を変える時程変更
(p.12)

船橋希望中学校
研修を機に「仕組み」と「マインド」を改革
(p.14)

城山小学校の取組み内容紹介（1/2）

城山小学校では「子育てしながら働ける、介護しながら働ける、楽しみながら働ける職場づくり」をテーマに、以下の取組みを実践しています。

テーマとの対応

取組みラインナップ

主な取組み内容・効果

働きやすさ改革
(子育てしながら、
介護しながら働ける
職場づくり)

働きがい改革
(楽しみながら働ける
職場づくり)

- 1コマ 40 分授業の試行
- 業務情報をクラウド上に移行
- タブレットを活用した分掌業務のフリーロケーション
- 夏季休業中の時差勤務活用の推進
- 夏季休業中の在宅勤務の推進
- 家庭学習の見直し（Qubena等の電子ドリル活用、夏季休業中のオンラインを活用した指導）
- 保護者・地域への資料配付のペーパーレス化
- 職員会議等のペーパーレス化
- 紙ドリル、紙テストから電子ドリルおよび電子テストの使用
- 会計事務（私費会計）の軽減
- 1学期は、個人面談、2学期は、児童のリフレクションによる三者面談を実施（日々の学びを届ける）
- 低学年からのモジュール学習により基礎・基本的なスキルの定着
- 高学年は「教科担任制」を一部実施
- 主体的に取り組めるような夏休みの課題の提案
- 世田谷区教育委員会研究指定校「魅力ある学び舎づくり」（地域リソースの活用）
- 令和9年度全国小学校理科教育研究協議会東京大会会場校

PICK UP①

まずは余白創出！

- 水曜日の40分授業および午前中5時間授業を実施
- 清掃活動を火、木、金曜日だけに設定
- 朝集会およびモジュールの時間をカットし、1校時の開始時刻を8：30とした。
- 朝集会およびモジュールを1時間目実施する日を設定した。

➡ **一日の教員裁量時間が45分
増え65分に！**

PICK UP②

「いつでも・どこでも」働ける環境整備

- Teamsを活用したクラウド上での教材・提案資料の共有化
- 夏季休業中に在宅で勤務する場合、勤務開始および休憩、勤務終了については、Teamsによる報告
- 所定の様式に記入すると共に、業務で行った報告書を1枚以上に作成し Teams で投稿

➡ **働く時間・場所の選択肢が
増えた！**

城山小学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した『「いつでも・どこでも」働ける環境整備』について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声等を伺いました。

PICK UP

「いつでも・どこでも」働ける環境整備

- Teamsを活用したクラウド上での教材・提案資料の共有化
- 夏季休業中に在宅で勤務する場合、勤務開始および休憩、勤務終了については、Teams による報告
- 所定の様式に記入すると共に、業務で行った報告書を1枚以上に作成し Teams で投稿

働く時間・場所の選択肢が増えた！

変化前



Q

取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？

A

取組みテーマである「子育てしながら働ける、介護しながら働ける」を実現するためには、「選択肢を増やす」、「業務負担を平均化する」、「探し物をなくす」ことが重要だと考えていたところ、まずは家よりも職場の方が仕事がしやすい状況、職場に残らざるを得ないという状況を変える必要があると思い、この取組みを始めました。

変革期



Q

取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと等がありますか？

A

この取組みにおいては、システムの整備とともに、それを使用する先生方のスキルの向上も肝要だと考えました。現にこの取組みを実施することで、先生方の優先順位をつけるスキル、段取りをするスキル、タイムマネジメントスキル、処理速度を上げるスキルが向上したと感じています。

変化後



Q

この取組みを実施したことで、「働く時間・場所の選択肢が増えた」とのことですが、先生方からはどのような声が挙がっていますか？

A

「実際は、多少なりとも、勤務時間外に取り組まなければならないことがあります。家庭の事情等で家に帰ってからでも情報を共有できたり、仕事ができる選択肢が増えたことはよかったです」といった声が挙がっています。

桜丘小学校の取組み内容紹介（1/2）

桜丘小学校では「スクラップ&ビルドで、「人材育成（創意工夫）」「心理的不安の軽減」を実現」をテーマに、以下の取組みを実践しています。

テーマとの対応

取組みラインナップ

主な取組み内容・効果

スクラップ

- 配布文書印刷・配布→すぐーる
- 学年・学級経営案の内容を自己申告書に統合
- 水曜日5時間→4時間
- 校内研究授業を2本同時に実施
- 全校集会を毎週から隔週にし、児童集会と交互に実施することでモジュールを増加 等

ビルド

- ロング昼休みの導入→体力向上
- 新1年生プレクラス（5月学級編成）
- 昼読書時間の導入
- 道徳持ち回り制
- 学年内教科担任制
- 企画会（管理職・学年主任・校務分掌主任による進捗管理等）
- 清掃活動（週3回から週4回に）
- 子ども祭り・地域合同避難訓練を土曜授業日に実施
- 「後1」「全休」weekの設定 等

PICK UP①

子どもも先生も安心して過ごせるクラス編成に！

- 新1年生の4月を「プレクラス」で過ごし、4月中は担任が3日ずつローテーションして子どもたちの特性を観察。
- それを踏まえて5月に学級編成を実施。

➡ **1年生が落ち着いて生活できるようになった！**

PICK UP②

整える時間の確保で「頑張らせる負担」を軽減！

- 昼休み・清掃後、すぐに5時間目を始めると慌ただしくなるため、5時間目の前に「昼読書」時間を設定。
- 「伏せてもいいよ」と声掛けを行いつつ、子ども達それぞれが心を落ち着かせて5時間目を始められる時間とした。

➡ **子どもたちが午後の授業も集中して臨めるようになった！**

桜丘小学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した「子どもも先生も安心して過ごせるクラス編成に！」について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声等を伺いました。

PICK UP! 子どもも先生も安心して過ごせるクラス編成に！

- ・新1年生の4月を「プレクラス」で過ごし、4月中は担任が3日ずつローテーションして子どもたちの特性を観察。
- ・それを踏まえて5月に学級編成を実施。

➡ 1年生が落ち着いて生活できるようになった！

変化前



Q

取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？

A

幼児教育と小学校教育のスムーズな連携を図るためには、児童がこれまで幼稚園・保育園等で体験していることを理解し、言動等、児童理解を深めることが求められています。入学前に学校が得た情報だけで、児童の特性や発達段階を明確に把握することは困難です。

変革期



Q

取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと等がありますか？

A

校長が実施事項の枠を決めて、運用や日々の改善はボトムアップで進めることを意識しています。また、最初から完璧なものを求めるのではなく、走りながら改善していこうというスタイルをとっています。3日ごとに担任が巡回する体制をとり、児童の様子や関係の構築、各プレクラスの学習集団としての課題の確認を行います。

変化後



Q

この取組みを実施したことで、「1年生が落ち着いて生活できるようになった」とのことですが、先生方からは実際にどのような声があがっていますか？

A

この取組みを行うと、通常よりも下駄箱シール張替えや名簿作成等事務作業が発生してしましますが、学年の担任からは「それらの追加作業を鑑みてもメリットが大きい」との声があがっています。

中丸小学校の取組み内容紹介（1/2）

中丸小学校では「リーディングDX実証も活用しながら、子どもの学びの改革と働き方改革を同時に推進」をテーマに、以下の取組みを実践しています。

取組みラインナップ

- 教科担任制
- 通知表の簡略化
- 夏・冬季面談を学期中に実施
- 学年だより等を学校だよりに一本化
- 会議の精選。水曜日を「働き方改革推進デー」に設定
- 生成AIの活用
- Teamsによる管理（安全点検・給食点検等）
- 人材（財）活用（支援員・サポーター等）
- 「ほっとルームなかまる」設置
- 単元内自由進度学習の推進

主な取組み内容・効果

PICK UP②

教科担任制で負担削減と教育の質向上を両立！

- 5年生と6年生で教科担任制を導入。
- 3学期から、4年生は次年度に向け、教科担任制のお試しを行うとともに、3年生でも教科担任制を導入した。



授業準備の負担が減った！授業内容も充実し、複数の教員の視点で子どもを見られるので教育的メリットも大きい！

PICK UP①

保護者との情報連携の工夫・効率化でWin-Winに！

- 通知表の所見欄をなくし、面談を学期中に実施することで、教師の負担を軽減
- 学年だよりなどを学校だより一本化し、業務を効率化



所見欄や学年だよりを書いていた時間を、教材研究や子どもと向き合う時間に充てられるようになった！

中丸小学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した「教科担任制で負担削減と教育の質向上を両立！」について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声等を伺いました。

PICK UP 2

教科担任制で負担削減と教育の質向上を両立！

- 5年生と6年生で教科担任制を導入。
- 3学期から、4年生は次年度に向け、教科担任制のお試しを行うとともに、3年生でも教科担任制を導入した。



授業準備の負担が減った！授業内容も充実し、複数の教員の視点で子どもを見られるので教育的メリットも大きい！

変化前



Q

取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？

A

本校は教員歴が浅い若い先生が多く、OJTを行いながらチームで育成しています。「学びの楽しさを味わわせたい」と思いながらも、毎日の授業準備に追われる先生方の不安、負担を軽減し、子どもにとっても大人にとっても安心できる学習環境をつくりたいと思いました。

変革期



Q

取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと・難しかったこと等がありますか？

A

学校でのトラブル、生活指導に関わる案件の対応など、児童から聞き取りをしなければならないが、教科担任制で時間割を組んでいて融通が利きづらく、聞き取りや指導の時間がとりにくいです。（もちろん時間を融通して行っています！）時間割作りに苦勞しています。

変化後



Q

この取組みを実施したことで、「授業準備の負担が減った」とのことですが、先生方からは実際にどのような声が挙がっていますか？

A

「1年目からすべての教科を教材研究して授業に臨む時間をとるのは難しい。教科担任制なら、自分が準備した教材を用いて複数のクラスで授業ができるので、ありがたい。」という声が教員から挙がっています。理科の担当の先生にとっても実験の準備に集中して取り組めるのでとてもいいです。

九品仏小学校の取組み内容紹介（1/2）

九品仏小学校では、生成AIの活用等を中心とした以下の取組みを実践しています。

取組みラインナップ

- 所見欄の軽減（所見欄を3学期だけに変更）
- 会議の精選
- 水泳を7月いっぱいまで終わりに
- 生成AIの活用

主な取組み内容・効果

PICK UP①

集まって話すべき話題を精選！

- 会議時間がかなり長かったところ、その場で一から考えることをやめ、C4thの掲示板を活用して、事前に議題を精選する仕組みに変更



C4thの事前確認を習慣として浸透させるにはやや時間を要したが、「効率化は小さな積み重ねが大事」という声かけを行うことで、会議時間短縮につながってきた！

PICK UP②

教師がやらなくてもできる作業は生成AIを積極的に活用！

- 生成AI（チャットGPT）を、成績処理の補助や、指導要録の所見の作成、地域に配るポスター作成、学校のPR文作成等に活用している



AIにたたき台づくりを任せることで、一から考える負担が減る！

九品仏小学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した「教師がやらなくてもできる作業は生成AIを積極的に活用！」について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声を伺いました。

PICK UP 2

教師がやらなくてもできる作業は生成AIを積極的に活用！

- 生成AI（チャットGPT）を、成績処理の補助や、指導要録の所見の作成、地域に配るポスター作成、学校のPR文作成等に活用している



AIにたたき台づくりを任せることで、一から考える負担が減る！

変化前



Q

取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？

A

教師がやらなくてもできる作業についてはAIに任せてもよいのでは、という考え方で、生成AIの活用を始めてみました。

変革期



Q

取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと・難しかったこと等がありますか？

A

たたき台の作成をしてもらう、という意識で活用すると使いやすいと思います。生成AIが出してくる文章の組み立てはそうおかしくないなので、そこに書き加えていく、という使い方をしています。命令の仕方が大事です。

変化後



Q

この取組みを実施したことで、「AIにお任せすると、一から考える負担が減る」とのことですが、この他に効果を感じたことはありますか？また、今後の展望等もあれば教えてください。

A

文末のバリエーションが同じだった先生も、AIにお任せしたところバリエーションが豊かになりました。仕事ができる優秀な助手で、「これは無茶ぶりだろうか」と思うことも、うまく出力してくれることもあります（例：地域に配るポスターで、AIが、少ない文字数で効果的に情報をまとめたたたき台を作ってくれた）。マル付けしたテストをPDFファイルにして読み込ませて成績処理を自動化できるシステム等もあるようなので、今後活用してみたいです。

桜丘中学校の取組み内容紹介（1/2）

桜丘中学校では「終わりが早くなれば、退勤も早くなる」をテーマに、以下の取組みを実践しています。

取組みラインナップ

- 週28コマの週時程の編成（水曜日、金曜日は5時間授業）
- 水曜日部活なし
- 夏季休業日等における総合的な学習の時間の実施（探究的な学習＝課題設定＆情報収集＆整理・分析＆まとめ）

- 生徒指導の安定化（時間外の生徒指導・保護者対応の削減）
- ポジティブ行動支援の生徒指導の実践（望ましい行動を育む生徒指導）
- 教員の勤務時間の周知
- 欠席連絡のデジタル化 電話受付時間の周知

- 校務分掌のスリム化 校務分掌を4分掌から3分掌にまとめ、個人の負担軽減を図る。
- 学校行事の精選 学期末事務時間の確保 学期末の大掃除の廃止
- 授業準備軽減 市販ワークシートの活用 リアテンド（デジタル採点ソフト）の活用

主な取組み内容・効果

PICK UP ①

19時30分の職員室の景色を変える教育課程編成

- 夏季休業中に総合的な学習の時間を設定し、時数としてカウント。3年生については、探究的な学習過程である情報収集や整理分析を夏休みに行い、時数としてカウント。週28コマでも年間1015単位時間（夏季休業日の時数を含む）確保。

生徒下校時刻が早くなり、時間外在校等時間が減っている！

PICK UP ②

19時30分の職員室の景色を変える生徒指導

- 生徒指導の安定化を図り、時間外の生徒指導時間を縮減。望ましい行動（時間 挨拶 責任感）を醸成し、学校生活を安定化。
- 教員の勤務時間等を周知することによる保護者からの連絡時間の改善

放課後の対応時間が変化し、時間外時間が減っている！

PICK UP ③

19時30分の職員室の景色を変えるスクラップ&ビルド

- 校務分掌の改変による複数配置…個人の負担軽減
- 市販のワークシートやリアテンドの活用等による授業準備時間の縮減
- 学校行事の精選と準備時間の縮減

業務量が減少し、時間外時間が減っている！

桜丘中学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した「19時30分の景色を変える時程変更」について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声等を伺いました。

PICK UP 19時30分の職員室の景色を変える教育課程編成

- 総合的な学習を時数としてカウント。3年生については、探究的な学習過程である情報収集や整理分析を、時数としてカウント。週28コマでも年間1015単位時間（夏季休業日の時数を含む）確保。

生徒下校時刻が早くなり、時間外在校等時間が減っている！

変化前



取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？



国として時間外在校等時間を月20時間以内にするを指すと言われてはいますが、そのためには17:45以降は学校にいられません。「できないかもしれない」という思いもありつつ、それでもそこに向けて環境設定をすることが大事だと考え、週28コマの時程編成に踏み切りました。

変革期



取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと・難しかったこと等がありますか？



週29単位から減らすことに罪悪感をおぼえる人もいましたが、「国からも正式に認められている週時程の形態」だということを打ち出しながら進めてきました。

変化後



この取組みを実施したことで、時間外在校等時間が減っているとのことですが、先生方からは実際にどのような声が挙がっていますか？



先生方からは「生徒の下校後時間が早くなったことにより、放課後の業務が早く手掛けられ、退勤が早くなった」、「校務分掌等、見直しを図ることが当たり前のこととなった」、「教員の勤務時間等を周知することで、保護者の理解が深まった」、「中教審答申等を意識して見るようになった」という声があります。

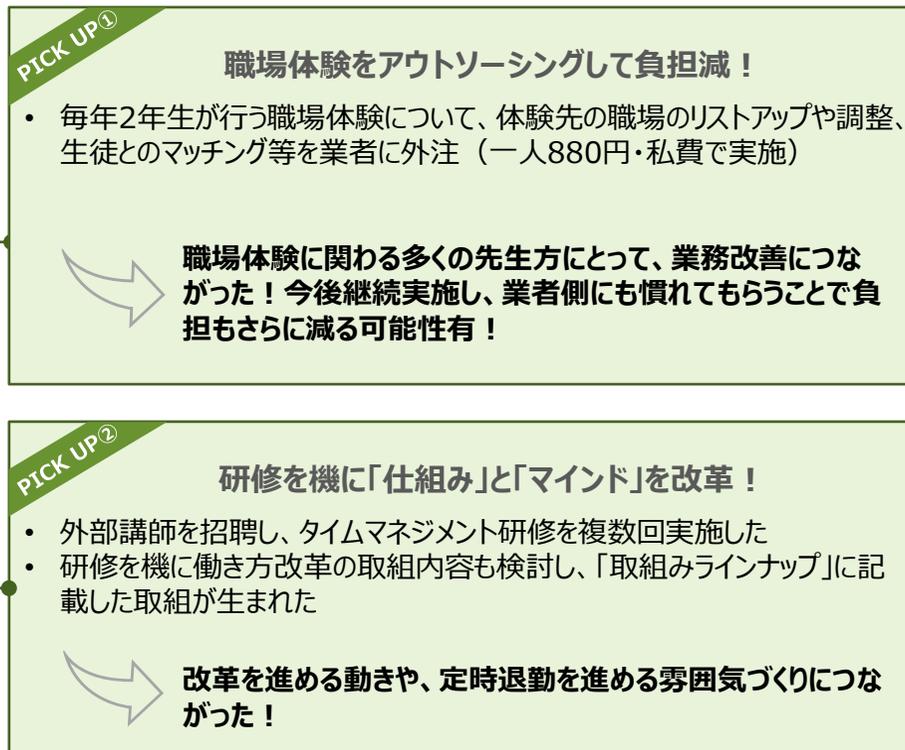
船橋希望中学校の取組み内容紹介（1/2）

船橋希望中学校では「外部の力を上手く使いながら、スキル向上と働き方改革を推進」をテーマに、以下の取組みを実践しています。

取組みラインナップ

- 行事の朝練廃止
- 中1の1学期中間考査廃止
- 定期考査最終日は給食無しに
- 2学期末考査翌日を午前授業に
- 夏休み中の準備出勤の廃止
- 都民の日の授業を無くす
- 職場体験の業者発注 ●
- タイムマネジメント研修の実施 ●

主な取組み内容・効果



船橋希望中学校の取組み内容紹介（2/2）

前頁で紹介した「研修を機に「仕組み」と「マインド」を改革！」について、取組みの背景や工夫、学校の先生の声等を伺いました。

STICKY TIP 研修を機に「仕組み」と「マインド」を改革！

- 外部講師を招聘し、タイムマネジメント研修を複数回実施した
- 研修を機に働き方改革の取組内容も検討し、「取組ラインナップ」に記載した取組が生まれた

改革を進める動きや、定時退勤を進める雰囲気づくりにつながった！

変化前



取組みの背景や課題感として、どのような思いがありましたか？



自分たちだけだと変えられないところについて、外部の風を入れていくことで変えていけることもあるかもしれない、という思いもあり、昨年度も外部講師をお願いした「先生の幸せ研究所」の皆さんに研修を実施してもらいました。

変革期



取組みを進める中で、工夫されたこと・意識されたこと・難しかったこと等がありますか？



複数回の研修自体が働き方改革と逆行するのでは、という意見も校内から出てきたりすることが、難しさとして挙げられます。これらの研修から変化につなげていくことで、このような時間をとることの大事さを感じてもらえればと考えています。

変化後



この取組みを実施したことで、「改革を進める動きや、定時退勤を進める雰囲気づくりにつながった」とのことですが、先生方からは実際にどのような声が挙がっていますか？



「外部機関が関わってくれることで、学校特有の不文律への疑問を持つ動きが強まった」、「テスト後給食なし等の改革がこの研修で出た意見を基に変わったのならとても意味があると思う」、「改めて職場環境が大切だと認識できました」、という声が教員から挙がっています。